

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	都市・地域経済学 (Urban and Regional Economics)					担当教員	瀧波 慶信 (タキナミ ヨシノブ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型AL
	2036-0-23-068	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型AL
	2436-0-23-007	専門科目	選択	2単位	2年次	後期		

① 授業のねらい・概要
経済のグローバル化のもとで、地域の産業政策、大都市と農村など様々な地域特性を踏まえた形態によって地域・都市を把握する必要がある。身近な社会の事象や諸課題を経済学の基礎理論に基づき理解する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
講義形式であるが、受講生は社会の出来事に対して関心を持つことが必要。発言の機会を設ける。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし。
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
佐藤泰裕(2023)『都市・地域経済学への招待状』新版 有斐閣
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
中山琢夫(2021)『エネルギー事業による地域経済の再生』ミネルヴァ書房
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
大学生はどうあるべきかをよく考えて講義に臨むこと。素直に、自発的に学習すること。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 地域の課題について説明できる。 (ii) 新聞やネットなどから情報収集ができる。 (iii) 諸課題解決の方策を提言できる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地域の課題を探る	自分自身の目で都市を含めた地域の課題を発見することができる	資料等を参考に諸課題の発見ができる	見聞きした諸課題を理解できる	見聞きした諸課題が理解できない	諸課題について考えることをしない
(ii) 身近な生活の中の諸課題	生活の中の諸課題について様々な方法を用いて検討できる	生活の中の諸課題について内容を理解できる	生活の中の諸課題を発見しようとする態度はある	生活の中の諸課題を感じることはできる	生活の中の諸課題を考えることができない
(iii) 身近な生活の中の諸課題解決に向けて	現実の諸課題について理解し、解決策を提言できる	現実の諸課題について理解できる	現実の諸課題についての理解が不十分	現実の諸課題について理解しようという態度は見受けられる	現実の諸課題について全く理解できない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%				20%		100%
(i) 地域課題の理解へ向けて	20%				5%		25%
(ii) 地域課題を探る方法と態度	20%				5%		25%
(iii) 地域課題解決法を探る	40%				10%		50%
フィードバックの方法	他の受講生の発言について質疑応答を行う。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ガイダンス	授業の概要、進め方	120分
2	日本の地域と都市	地域について、都道府県	120分
3	地域の産業構造	産業構造、地域間のつながり	120分
4	地域間人口移動①	日本の人口移動の特徴	120分
5	地域間人口移動①	人口移動の経済分析	120分
6	集積の経済	都市化とは	120分
7	住宅市場①	日本の住宅市場	120分
8	住宅市場②	住宅価格と家賃	120分
9	住宅市場③	住宅市場・土地市場に関わる政策	120分
10	地域間交易	産業間交易と産業内交易	120分
11	企業立地	工業立地・商業立地の分析	120分
12	空間経済学	都市規模、独占的競争	120分
13	交通問題	交通サービスの特徴、混雑問題	120分
14	政府の役割	地方政府の役割	120分
15	まとめ	学習内容の振り返り	120分

⑫ アクティブラーニングについて
毎時間、受講生は授業の最後に本時に学んだ内容をまとめる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性